

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	67	41	ヘルパンギーナ	30	55
咽頭結膜熱	72	47	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	35	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	280	252	流行性角結膜炎(はやり目)	9	3
水痘	21	37	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	57	51	無菌性髄膜炎	1	3
伝染性紅斑(りんご病)	0	0	マイコプラズマ肺炎	4	2
突発性発しん	51	34	クラミジア肺炎	1	0

**報告が多い感染症**

- 感染性胃腸炎
- 咽頭結膜熱
- RSウイルス感染症

● 感染性胃腸炎 報告数:280件(前週:252件)  
地区別:菊池、有明、人吉  
年齢別:1歳 55件(19.6%)

● 咽頭結膜熱 報告数:72件(前週:47件)  
地区別:山鹿、宇城、菊池  
年齢別:2歳 18件(25.0%)

● RSウイルス感染症 報告数:67件(前週:41件)  
地区別:宇城、菊池、八代  
年齢別:1歳 27件(40.3%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		13	19	9	51	5	7		16		3	1	1	5		1	1	
山鹿保健所			23		14	1	4		2				*	*				
菊池保健所		17	11	7	88	3	17		11		6			2				
阿蘇保健所				1	1						1		*	*				1
御船保健所					1								*	*				
八代保健所		11			22		10		4		3			1				
水俣保健所		3			2		3		1				*	*				
人吉保健所		4		3	24	2	4		4		1		*	*				
有明保健所		4	4	7	46	5	5		6			1		1				
宇城保健所		15	12	2	25	4	2		3		5		*	*				
天草保健所			3	3	6	1	5		4		11							3
計	0	67	72	32	280	21	57	0	51	0	30	2	1	9	0	1	4	1

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	67	14	17	27	7	2																
咽頭結膜熱	72	1	2	9	18	9	10	15	2	3			2	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32			1	2	5	4	6	3	5	2		2		2							
感染性胃腸炎	280	2	25	55	47	33	23	23	14	14	4	6	23	1	10							
水痘	21	1	2	3	7	2	2	1	1	1		1										
手足口病	57		12	18	11	10	2	3		1												
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	51	1	29	19	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	30	1	9	7	7	3	1	1				1										
流行性耳下腺炎	2						2															
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1															1						
流行性角結膜炎	9							2					1	1	3	1	1					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1		1																			
マイコプラズマ肺炎	4		1	1	1																	1
クラミジア肺炎	1													1								

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ:天草
- 咽頭結膜熱:山鹿

咽頭結膜熱が急増しました



咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性感染症です。7月中旬以降増加傾向にあり、特に山鹿地域からの報告が多くなっており、山鹿は警報レベルを超えています。咽頭結膜熱は、消毒が不十分なプールを介して子どものあだに流行することがあるため、「プール熱」と呼ばれることもあります。感染経路は、プールを介した場合には、汚染した水が結膜に直接入ることと考えられており、それ以外では飛沫感染や手指を介した接触感染です。

(症状)

5~7日の潜伏期を経て、発熱、のどの痛み、目の充血等の症状が出ます。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。一般的には3~5日で軽快しますが、この病気を引き起こす腺ウイルスには、たくさんの種類があることが知られており、7型と呼ばれるウイルスの感染では、時に重症化することがあります。症状がみられたら、安静にしておかけの医師の診察を受けてください。

(予防)

流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行し、感染者との濃厚な接触を避ける等、感染予防に努めてください。また、プールの利用に際しては、水泳前後にはシャワーを浴び、タオルの共用を避ける等の注意が必要です。熱が下がってもまた体内にウイルスはいますので、症状がおさまっても2日間は、学校や保育園は休ませましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課